

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

NO.1033

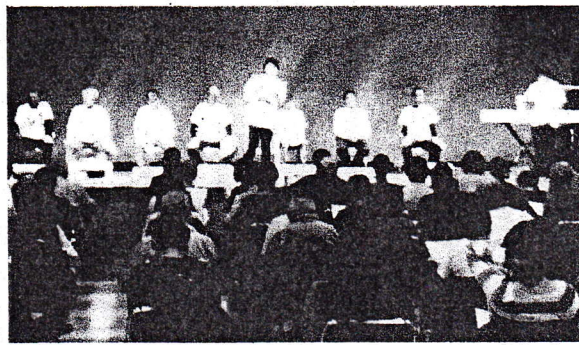
14.11.5

市議会主催健康づくり講座 開催

11月3日(祝)市民会館市民ホールで市議会主催の「元気でいきいき健康づくり講座」が開かれまし
た。これは、市議会で現在協議中の「和歌山市み
なでとりくむ生き生き健康づくり条例」策定の取り
組みとして策定協議会の発案で開いたものです。

151人の参加者アンケート 1200人記入

事前の申込は50人ほどで
したが講座が始まるに時頃
には、1000人を超える参
加者でした。山本忠相議員
の司会が始まり、奥川議長
の開会あいさつ、中村協二
策定協議会会長の経歴と条
例案の説明に続き、松浦英
夫医学博士の「高齢者の健
康づくりを考えた上」の講
演では、アルコールの許容
量(1人2合)の少なさに
ビックリ。
谷口和世和歌山大学研究

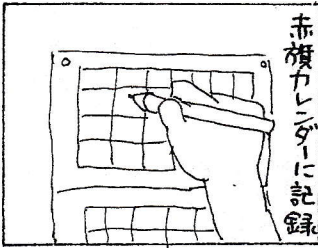
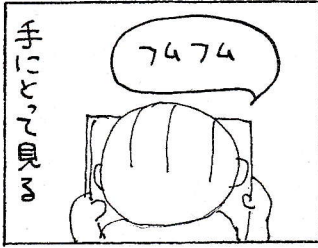
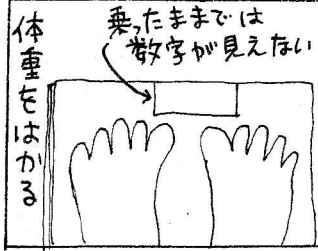


キーボードによる音楽つきの シニアエクササイズ実践!

支援員が説明し、7人の自
主グループ代表が模範を示
してくれたシニアエクササ
イズは、想像していた以上
に脚に伝えました。恐るべ
し!シニアエクササイズ!!
続いて、谷口和世先生
トランクターによる「NHK

フリーの人々

(816)



BOSAI体操」の実演が
行われました。しかし、私

ひめだは他の予定のため、
残念ながら退出したのです。

こんにちは 日本共産党の かとう直人です。

(その41)

生きていく値打ち

友人に薦められて歌人
の河野裕子(かわのゆう
こ)さんと家族の記した
単行本を読んだ。夫も長
男長女も皆、歌を読む人
だ。日々の暮らしを短歌
とエッセーで紡ぎリリー
する。河野さんご自身が
病気のため残された時間
を自身と家族が向きあい、
短歌でこころをさらけ
出せる。河野さんが娘
に残した言葉。「本当に
人生は短い。だから伴侶
といつも一緒に居て大事
にしてあげること、家を
明るく暖かくして待つて
いること、美味しいもの



かとう直人 (県議予定候補)

市・非常勤職員(行政職)採用

採用予定は2015年4月1日以降

職務内容・採用予定人員

・窓口での受付応対業務、課における庶務業務等に従事します。

・採用予定人員は、30人。

受付期間

持参：11月20日(木) 21日(金) 8:30~17:15まで

郵送：11月21日(金) 消印有効

第一次試験日

12月6日(土)

第一次試験会場

和歌山市立西和中学校

◎試験内容は、択一式90分で行われる社会常識、日本語能力及び数的処理能力についての筆記試験(おおお中中学・高校卒業程度)

試験に関する問い合わせ

和歌山市人事委員会事務局

435-1337

七番丁の番地 朝日ビルディング2階(国最近、南庁舎から移転しました)

日本共産党 演説会

いよいよ今週末です、参加のみなさん、ぜひおこしください。

11月8日(土) 19時開会

和歌山市民会館 大ホール
山下よしき 党書記局長、柳隆義 党副書記長が講話します。

主催：奥村、わじ、富田、島田、神崎、津田、明子、藤井、日本共産党北和歌山支部 432-6222

「こどもたちは日本共産党です」

表現・文化運動の自由

11月3日は「文化の日」でした。文化を自由に創造し、享受することは国民の権利であり、その条件を整えることは政治の責務です。

しかし、日本の文化予算は、国家予算に占める割合が0.11%で、韓国のおよそ10分の1、フランスの10分の1という低い水準で、文化にたい政治が続いています。そのうえ、安倍政権は、秘密保護法制定や集団的自衛権行使容認など、憲法の平和原則と表現の自由、知る権利をいじくります暴走政治を進めています。

いま、安倍政権の「七国政治」に對抗して、憲法9条と言論・表現の自由をまもる良識ある世論と運動が広がっています。日本共産党は、こうした広範な人々と共同し、表現の自由、文化運動の自由をまもるために力を尽くします。

つくる。と▼九州電力の川内原発をめぐる動きも緊迫しています。再稼働を許さない周辺住民と全国の運動が呼応。原発ゼロの日本をめざし、声をあげつつけています▼最新の経済指標はほとんどが悪化。物価は上がり収入は減る一方で、みずからの生活や権利を守る。安倍政権の戦争する国づくりを抗するデモは、毎日のおうに各地でわき起こっています。それは本紙の日々の紙面からも伝わります▼自民党政治に痛烈な審判が下った9年前。民主党への失望から自公政権に戻った2年前。そして、2014年の秋深まるいま、政治や社会を変えたいという国民のたたかいは燃え盛っています。まっとう開幕する赤旗まつりはその結晶点となるでしょう。

潮流

種月がかわって11月。霜月や日ませにし(11月)けて冬籠(く)へ去来)。今年もあと2カ月。寒さが募り、冬模様におま水でいく列島ですが、民のたたかいはいっそう熱を帯びています▼沖縄では、米軍の新しい基地を辺野古につくらせるかどうかを最大の争点にした知事選が始まりました。もう基地はいらない、平和で自然豊かな美しい島に暮らしたい。保革をこえた「オール沖縄」の思いを代表するオナガ雄志候補の勝利に、県民の心をひとつにするときです▼これまで保守の側に身を置いてきたオナガさんは語っています。「私たちは、もうこの水以上、基地を挟んで左右に分かれる必要はない」。いがみ合い、結局はいっまでも基地は居座り、苦しみがつづく。そんな過去と決別して新しい沖縄と日本を

つくる。と▼九州電力の川内原発をめぐる動きも緊迫しています。再稼働を許さない周辺住民と全国の運動が呼応。原発ゼロの日本をめざし、声をあげつつけています▼最新の経済指標はほとんどが悪化。物価は上がり収入は減る一方で、みずからの生活や権利を守る。安倍政権の戦争する国づくりを抗するデモは、毎日のおうに各地でわき起こっています。それは本紙の日々の紙面からも伝わります▼自民党政治に痛烈な審判が下った9年前。民主党への失望から自公政権に戻った2年前。そして、2014年の秋深まるいま、政治や社会を変えたいという国民のたたかいは燃え盛っています。まっとう開幕する赤旗まつりはその結晶点となるでしょう。

赤旗 日刊 3,400円/月 2014年11月